

南半球産の冷凍保管料計算の比較例				1ケース当り(円)
	10月から	11月から	12月から	弊社
10月前半	200	0		
10月後半	200	0		
11月前半	400	200	0	0
11月後半	400	200	0	0
12月前半	600	400	200	100
12月後半	600	400	200	200
1月前半	800	600	400	300
1月後半	800	600	400	400

10月からの例と比べますと、1ケース当り 200円～500円の差となり、18-20なら1球当り 1.33～3.33円、20-22なら 1.6～4.0円の差になります。わずかな違いではありますが、昨今の輸入コスト上昇が厳しさを増す中で、皆様の経営安定へ弊社として努力を続けております。ご理解とご協力をお願い致します。

②早期輸入のスケジュールについて

海上輸送の混乱は、当面改善の雰囲気はなく、今年いっぱい続くだろうという意見もあります。昨年の南半球産の輸入球数は、9月までで前年比 62.8%、10月までで 88.8%と大幅な遅延となりましたが(21年11月12日付 情勢報告をご参照下さい)弊社では、早期輸入の9月までの入荷で前年比 120%以上と比較的順調でした。収穫期の細かい数量の SHIPPING は、繁忙期の現地作業や冷凍庫を圧迫するため、大きいロットや物量の多い輸出先(=コンテナ手配も有利)が優先的に出荷されやすかったと感じます。この傾向はオランダ産新球の輸入でも同様と思います。今後、日本の輸入球数の変化や荷揚港の偏重などに伴い、国内貯蔵スペースがどのように変化していくかわかりませんが、弊社では自社冷凍施設(昨年一部増強)が十分にあり、幅広い品種を取扱いながら、早期輸入及び納品のご要望にも柔軟に対応させていただいております。

③ニュージーランドの気候と生育の報告 (バンザンテン社)

2022年 NZ産は、春のフロストによるダメージはありませんでした。摘雷はやや早く、夏の気候は普通で、雨は適度にあり、曇りも多くあまり暑くない夏でした。2月にも十分な雨があり灌水の必要は無く、2月下旬の肥大調査の結果は、平年データと同様です。一部の OT は肥大が進んでおり、地上部の刈り込みを予定しています。よろしくお願い致します。

以上

